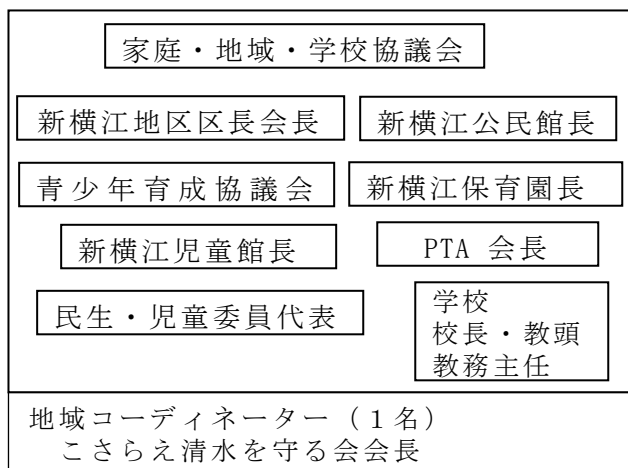


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

	開催回数 2回
5月	スクールラン・教育活動予定配付 校内体育大会参観依頼
6月	オープンスクール参観依頼
9月	家庭・地域・学校協議会（第1回） 1学期の教育活動を振り返って
10月	「おやこのがっこう」参観依頼 親子活動の取り組みについて
2月	家庭・地域・学校協議会（第2回） オープンスクール参観依頼 本年度の学校の取り組み 学校評価報告と次年度提言

(3) 協議会における成果と課題

家庭・地域・学校協議会の方々に学校行事や授業参観などへの参加を通して、以前より子どもたちの声が大きくはっきりと発言できているとの感想をいただいた。人間関係が疎遠になりがちな時代だからこそ子どもを通して保護者や地域の人を結び付けていく必要がある。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域を知り、自分たちができることを見つけ実践する体験活動を行うことで、地域に誇りや愛着をもち、主体的に行動する児童を育てる。

(2) 活動の実際

- ① 「こさらえ清水を守る会」の方を講師に招き、こさらえ清水復活プロジェクトに関する講演会およびトミヨの観察会を開いた。産卵期にオスが卵を守り、巣の中に新鮮な水を送るなどの世話をすることやアメリカザリガニが生息する湧水池ではトミヨが絶滅してしまったことなどを知った。その後トミヨを間近に観察し、とげの状態も確認した。一年を通してトミヨの飼育観察を継続しながら、河川改修で湧水池が絶え居場所がなくなったトミヨの生態を伝え、水質の変化や外来生物の影響を受けやすいトミヨの保護活動をしていきたいという思いを強くした。（3年生）
- ② 昨年トミヨについて学んだことを基に、3年生に向けて発表した。発表の中で触れた「トミヨはきれいな水にしか生息できない」ということを検証するため、水質調査を進めた。（こさらえ清水、水道水、小学校東側を流れる穴田川の水、小学校に隣接する用水、下新庄の用水、東鯖江の用水、定次住

宅地の小川の7箇所) その結果、他の観測点と比較してこさらえ清水は格段にきれいであるということが分かり、こさらえ清水を大事にしていきたいという思いを強くし、地域に対する誇りを深めた。(4年生)

- ③ 一年目から作成しているトミヨ法被(児童がデザイン)の数を増やし6年生児童数分(53着)を用意した。今後、校内体育大会のフィナーレで繋いでいく予定の全校ダンス「さばひがイッチョライ」(よさこい)を考案し、6年生全員がトミヨ法被を着て踊った。アンコールでは保護者や地域の方々も交えて、みんなで楽しく踊ることができた。トミヨのまちをアピールするよい機会となった。(6年生・全校)



### (3) 地域コーディネーターの活動概要

こさらえ清水を守る会会長

活動時の協力者(ボランティア)の確保、連絡調整、準備、後始末等

### (4) 特に工夫した事項

- ・ 絶滅危惧種トミヨに関する学習会や飼育・観察を通して環境調査および環境保護へと目を向けていった。
- ・ トミヨの生態等から繁殖の可能性は極めて低い。また、探求するには文献も乏しい。体験したことを下学年に伝えながらサポート体制をとり、できる限り児童の自主的な活動になるよう計画した。また、学びを家庭・地域へも発信することを心がけた。

## 3 成果と課題

- (1) 中学年では、トミヨに関する調査や飼育活動を進めていく過程において地域の環境保全への関心が高まった。
- (2) 高学年では、活動を深化・発展させていくことが難しい。地域の方の関心も低い。今後も児童の発想や主体性を大切にしながら学校行事等で発信したり、地域に出向き、PRしたりしていきたい。